



島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジーオくん」

つなごう未来へ！島原半島世界ジオパーク ジオパークであり 続けるための取り組み



島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジーナちゃん」

島原半島ジオパーク推進連絡協議会 ☎0957(65)5540

先月号では、法律による大地の遺産の保全の実例を紹介しました。しかし、法律による保全には大きな欠点があります。というのは、ジオパークの認定範囲は島原半島全域ですが、雲仙・天草国立公園と、島原半島内の県立自然公園の範囲を足し合せても、半島全体にはおよびません。つまり、法律だけでは、島原半島内の全ての大地の遺産（ジオサイト）を守ることができないのです。そのため、自然公園の範囲外にある大地の遺産は、住民の手によって独自に守る必要があるのです。

大地の遺産の保全Ⅱ：住民の手による大地の遺産の保全

西有家町の龍石海岸は、およそ50万年前に始まった雲仙火山の始まりの地層が見られるジオサイトですが、ここは国立公園の範囲からも県立自然公園の範囲からも外れ、法的には保全されていません。



そこで、ジオパークの世界認定以降、南島原市と地域の住民が一緒になった「ジオサイトクリーン作戦」が開催され、周辺の草刈りや海岸の清掃活動などの保全活動が続けられています。

島原市白土桃山地区にある浜の川湧水は、今から221年前に起きた「島原大変」の崩壊土砂が、海を埋め立てた場所に湧き出した湧水です。この湧水の脇にある共同の洗い場は、用途に応じて利用場所が決められているほか、地域の人々が常に掃除をして、きれいな状態が保たれています。

小浜町には、「庄屋の水」として名高い湧水スポット、上

の川湧水があります。江戸時代からの古い歴史を持つこの湧水も、地域の人たちが洗い場の清掃や水底に溜まった落ち葉の除去作業が続けられています。

これら以外にも、雲仙火山がつくりだした大地の遺産が、地域の人たちの尽力によって大切に守られ、管理されている事例はたくさんあります。どれも地域の自然を維持する大切な作業であり、これがジオパークそのものの品質の保証につながっていくのです。無理なく、身近なことから地域の自然環境を守り、その魅力を次の世代に引き継いでいきましょう。

世界ジオパークの再認定審査が行われます

7月9日～11日の3日間、2人の審査員により、島原半島世界ジオパークの再認定審査が行われます。4年ごとに行われるこの再審査は、場合によっては世界ジオパークの認定がはく奪されることもありうる大変重要な行事です。この審査では、島原半島地域が世界ジオパークに認定されてからどのように変化したのか、地域の人々がどのくらいジオパークの世界認定を喜び、地域の活性化に活用しようとしているのかが評価されます。

広告

天然温泉リゾートホテル ① 原城温泉 真砂 南島原市南有馬町丁133番地 ☎0957-85-3155

美しい有明海が見える大浴場・客室・地元の旬の食材を使った料理・くつろぎの時間をお楽しみください。

宴会プラン	日帰りプラン	宿泊プラン
各種お祝い・ご法要・同窓会・ご会合に	お一人様 2,000円(税込)より	お一人様 二食付き
■予算に合わせたお料理プランもご用意致しております。	ご昼食 ご入浴 ご休憩	原城プラン 9,000円(税込) 白洲プラン 12,000円(税込)

各プランのご利用のお客様で15名様以上はバス送迎を致します。

いつもいたいあったかな 時間です。
テーマ「家族といっしょの食事を楽しむこと」 南島原市立 口え津 小学校 5年 木崎 沙弥香



町中心部に向けた渋滞状況

南島原へ帰省した時、「南三陸町でどんな仕事しているの？」と、尋ねられることがあります。今月号は、私が取り組んでいるプロジェクトについて報告したいと思います。

また、三陸縦貫道整備を始めたところ、さまざまな復興事業も進められています。町を縦断する国道45号線の1日の交通量は、平成22年調べでは8,900台でしたが、現在は復興関係車両の増加によって増えそうです(詳細の交通量は調査中)。

町内の主要道路は、復興関連車両が数多く通行し、朝夕の通勤通学時間帯には、町内各地からバスが志津川中学校を目指して運行し、JRが運行しているBRT(バス高速輸送システム)

同じ路線を通行するので、町中心部は渋滞しています。復興事業がピークとなる平成26年度下半期には、日量13,000台を超える土砂運搬車や建設資材運搬車が通行するようになりま。その結果、さらなる交通渋滞をまねき、渋滞よってさまざまな経済活動に支障を来すと予測されています。復興事業一つひとつへの影響はなく、工事期間内に終了するものばかりですが、短期間に数多くの工事が実施されることから、折り合いがつかず、復興事業の遅れとなる原因にもなりかねません。

これから国、県、警察などの関係機関と協議し、工事調整、交通量調整を進め、今年9月から始まる本格的な造成工事までに交差点の整備や工事車両通行ルールの早期確立、工事車両専用道路の整備など、渋滞解消に向けた検討を行っているところ。

復興への



東日本大震災災害派遣レポート Vol.13

南島原市災害派遣職員 林 田 昭 義

南三陸町では、今年2月からの災害公営住宅工事の着工を皮切りに、各地で高台への集団移転のための造成工事が始まります。

また、三陸縦貫道整備を始めたところ、さまざまな復興事業も進められています。町を縦断する国道45号線の1日の交通量は、平成22年調べでは8,900台でしたが、現在は復興関係車両の増加によって増えそうです(詳細の交通量は調査中)。

同じ路線を通行するので、町中心部は渋滞しています。復興事業がピークとなる平成26年度下半期には、日量13,000台を超える土砂運搬車や建設資材運搬車が通行するようになりま。その結果、さらなる交通渋滞をまねき、渋滞よってさまざまな経済活動に支障を来すと予測されています。復興事業一つひとつへの影響はなく、工事期間内に終了するものばかりですが、短期間に数多くの工事が実施されることから、折り合いがつかず、復興事業の遅れとなる原因にもなりかねません。

教えて！国民年金 年金事務所での相談は電話予約が便利です！



諫早年金事務所では、年金相談窓口の混雑解消や待ち時間の緩和、お客さんの利便性向上を目的に予約制を実施しています。

年金事務所に相談に行く場合は、事前に電話予約をすると、待つことなくスムーズに対応できます。

■電話予約時間帯

- ・平日…午前8時30分～午後4時30分
 - ・週の初日…午前8時30分～午後6時30分
 - ・第2土曜…午前9時30分～午後3時30分
- (※正午から午後1時を除く)

■予約申込み電話番号

☎0957(25)1663

※代理の人が相談に行く場合は、委任状が必要です。詳しくは年金事務所または市役所各支所へお尋ねください。

日本年金機構諫早年金事務所 ☎0957(25)1666
南島原市 保険年金課 ☎050(3381)5039 または 各支所

